

2. コミュニケーション能力

1.相手の個人的、社会的、文化的背景を踏まえて傾聴し、相互の立場を尊重しながらコミュニケーションを図ることができる。

A
クリニカル
クラークシップ
(CC)
選択クリニカル
クラークシップ
(CC)

B
基本臨床実習
医学実地演習Ⅲ
医学実地演習Ⅱ
医学実地演習Ⅰ
医学入門)ユニット③医学入門

C
SGL(臨床科目)
セミナー
行動科学Ⅲ
行動科学Ⅳ
医学入門)ユニット①医学教育カリキュラム総論
特別プログラム(1年)
SGL(基礎科目)
外国語
基礎科学)ユニット④行動科学Ⅱ

D
臨床病態学
医学入門)ユニット②行動科学Ⅰ
医事法学
数学)ユニット②コンピュータ・リテラシー

E
統合臨床
後期研究配属
研究配属
基礎医学総論Ⅰ)
分子解剖学(発生・組織・分子細胞医学)
基礎科学)ユニット③英語
基礎科学)ユニット⑤福祉社会論
生物実験
人文社会科学)ユニット①生命倫理学/心理学
人文社会科学)ユニット②-1 哲学
人文社会科学)ユニット②-2 社会学
人文社会科学)ユニット②-3 法学
人文社会科学)ユニット②-4 医療人類学/老年学
救急と生体管理
産婦人科学
運動・感覚
小児・思春期医学
頭頸部・耳鼻咽喉科学
眼科
皮膚科学
形成・再建・再生
精神医学
麻酔・集中管理・疼痛制御
循環器
消化器
呼吸器・感染・腫瘍・乳腺
神経・リハビリ
放射線医学
内分泌・代謝・栄養
アレルギー・膠原病・免疫
血液・造血器
腎・泌尿器
臨床医学への基礎医学的アプローチ
臨床医学総論

【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD:一部の科目では客観試験、論述試験の項目に加味されている。

レベルC: SGL(PBL, TBL)では観察記録(TutorおよびSP、同僚評価)で行われ、その他の科目では実習中の観察記録、提出レポートで行われる。ポートフォリオの活用による形成的評価を加える。

レベルB: 基本臨床実習では多くの授業が方略としてシミュレーションを用いており、指導教員、SPによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。医学実地演習では指導教員、看護師、患者による観察評価、レポートによる評価が行われ、医学入門③ではSP、同僚による形成的評価、レポート評価が行われる。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360° 評価により行われる。新たに導入するCCポートフォリオを用いて省察の態度・習慣を教員、上級生が評価する。

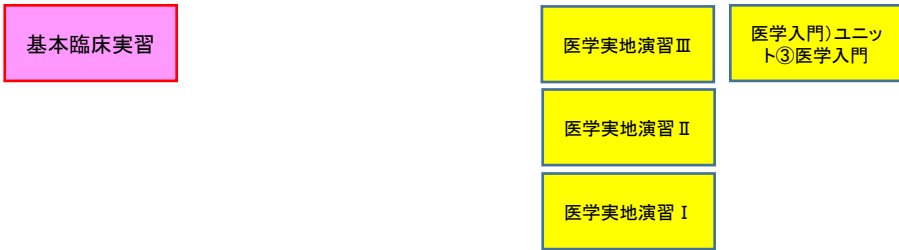
2. コミュニケーション能力

2.患者やその家族に支持的、共感的に接することができる。

A



B



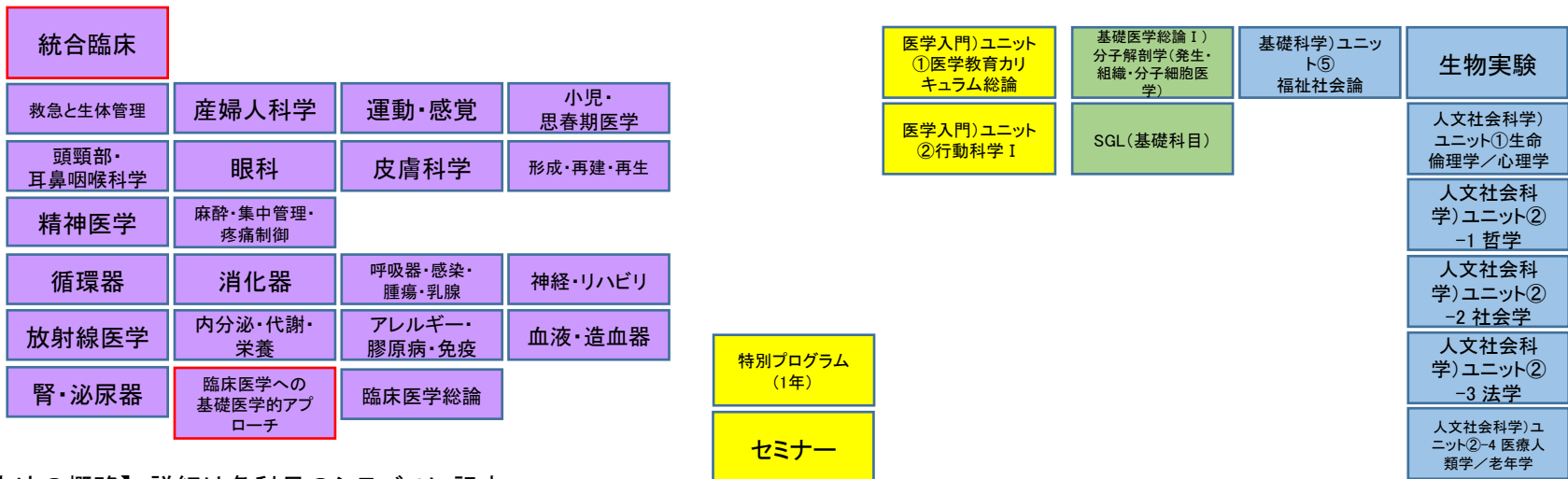
C



D



E



【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 臨床科目SGLでは課題内容の取扱い姿勢で形成的評価が行われ、一部の科目では客観試験、論述試験、レポートの評価に加味されている。
 レベルC: 行動科学ⅢではTBL中にSPIによる形成的評価が行われ、その他の科目では提出レポートの中で行われる。ポートフォリオの活用による形成的評価を加える。

レベルB: 基本臨床実習でシミュレーションを用いており、指導教員、SPIによる評価が行われるがこれは形成的評価が主体である。医学実地演習では指導教員、看護師、患者による観察評価、レポートによる評価が行われ、医学入門③ではSP、同僚による形成的評価、レポート評価が行われる。

レベルA: 臨床・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360°評価により行われる。
 新たに導入するCCポートフォリオを用いて省察の態度・習慣を教員、上級生が評価する。

2. コミュニケーション能力

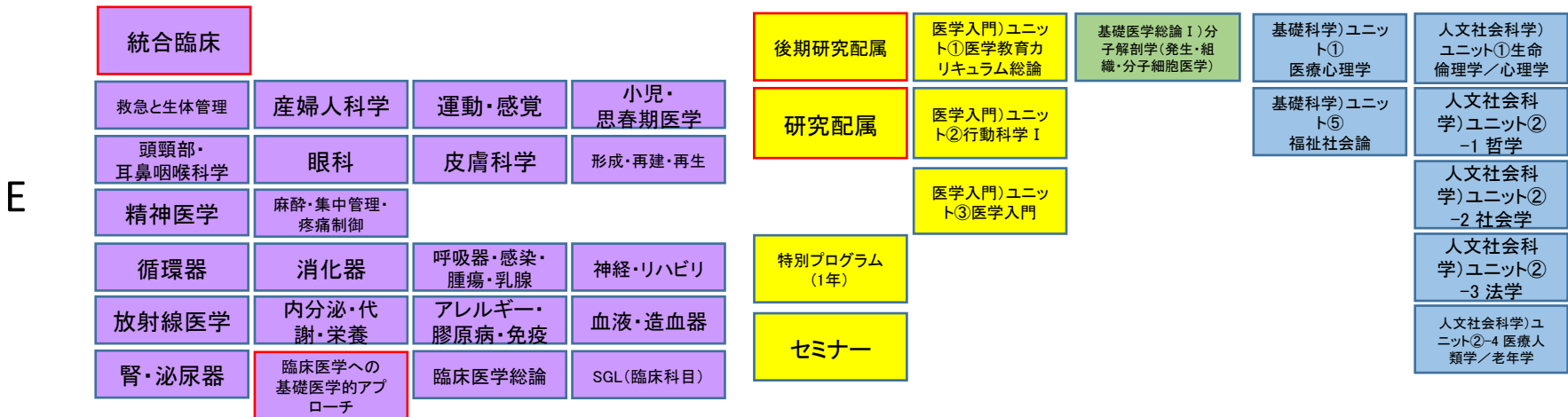
3. 医療チームの一員として、情報の収集や伝達、説明と同意、教育などの医療の基本となるコミュニケーションを実践できる。

A クリニカル
クラークシップ
(CC) 選択クリニカル
クラークシップ
(CC)

B 基本臨床実習 医学実地演習Ⅲ
医学実地演習Ⅰ
医学実地演習Ⅱ

C 行動科学Ⅲ SGL(基礎科目) 基礎科学)ユニット④行動科学Ⅱ
行動科学Ⅳ

D 臨床病態学 医事法学 生物実験
数学



【評価方法の概略】 詳細は各科目のシラバスに記す。

レベルD: 一部の科目では実習中の観察記録と客観試験、論述試験、レポートの評価に加味されている。

レベルC: 行動科学ⅢではTBL中にSPIによる形成的評価が行われ、その他の科目では提出レポートの中で行われる。基礎科目SGLの一部は薬学部学生との多職種連携プログラムであり、Tutorによる観察記録により評価が行われる。

レベルB: 基本臨床実習でシミュレーションを用いており、指導教員、SPIによる形成的評価が行われる。医学実地演習では指導教員、看護師、患者による観察評価、レポートによる評価が行われる。

レベルA: クリニカル・クラークシップにおいては指導医の観察記録、mini-CEX、指導責任者による口頭試問、一部360°評価により行われる。新たに導入するCCポートフォリオを用いて省察の態度・習慣を教員、上級生が評価する。